

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2017. 5
No.285

新入社員の皆さんへ

イナテックへようこそ！

まず、新入社員の皆さんに贈る言葉は、「与えられた仕事を、とにかく一所懸命やってください」ということです。まわりの人が感動するぐらい一所懸命にやることです。

それによって、また新たな仕事（より高度な仕事）がいただけるはずですよ。

一度の失敗は許されませんが、幾度の失敗は会社では許されません。安心して仕事を任すことができなくなり、ステップアップもなくなるわけですよ。

最初は単純でつまらなそうな仕事を与えられます。それを馬鹿にせず、一所懸命やって周

りの人（上司・先輩・同僚）たちをうならせるくらい頑張ってください。

次に「素直」ですよ。

素直な人が伸びる

成功しない人の四条件

- 一、言われた事しかしない人
- 二、楽をして仕事をしようとする人
- 三、続かないという性格を直さない人
- 四、すぐに不貞腐れる人

人間は趣味では絶対に人格は磨かれない。

人間の人格は、仕事に打ち込む中で磨かれていく。

この「素直」さについて、日本ハムファイターズの栗山秀樹監督は次のようにおっしゃっています。

「伸びる選手の共通点は、素直さです。人間というものは、少し結果が出てくると、自分のやっていることを正しいと思うようになります。でも、本当に正しいかどうかなんて分かりません。だから、自分がやっていることは正しいんだと

凝り固まってしまうのではなく、常にもっといい方法があるかもしれない、と思えること。そのスポンジのような吸収力や適当性といったものを持っている選手が一気に伸びていきます。」

また、「苦しいからこそ知恵が生まれ、苦しい時だからこそ、それを打開するための手を打つことができた」ともおっしゃっています。

「楽」からは成長はありません。「苦」が成長させるのです。

さあ、新入社員諸君、一緒に頑張ってください。

見える問題、見抜く問題

昨年TPM優秀継続賞予備審査にいらっしやった渡辺高志先生の「図説『三見主義』」を読んだ、印象に残ったことを皆さんにご紹介します。

例えば、生産現場に汚ればなしの設備機器があるとします。それを目にする、「設備の掃除ぐらいやれよ」と言いたくなります。また、

掃除しろ」と言えば、その時はやるでしょう。

この場合、「見える問題」というのは、その機器がとて汚くて、掃除・給油・点検をしていないということと、「掃除しろ」と言われてから行動していることです。

それに対し、「見抜く問題」というのは、「何のためにその機器が設置されているのか」を理解していないということと、「なぜ汚れていてはいけないのか」という関心がありません。つまり、「無関心体質」に陥っているのが本質的な問題なのです。

このような現場では、「教えてもらっていない」ということを問題視して、自分は知らなかったから仕方がないと責任を逃れようとします。これが特徴的な「無関心」の言動なのです。

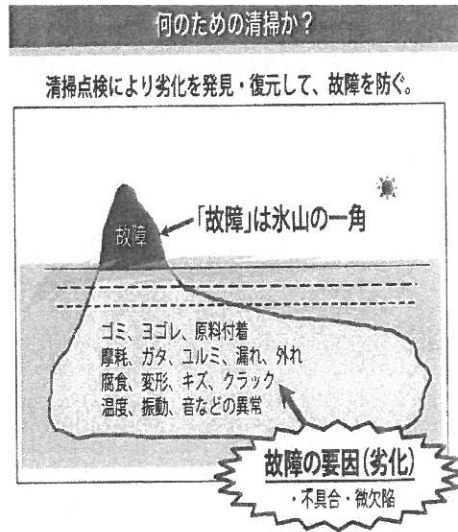
汚れのひどい設備機器があり、「掃除ぐらいやれよ」と言えば、必ず掃除するでしょう。

しかし、言われた時だけやって、言われなければやらないかもしれません。その場限りの掃除では、何の問題解決にもなりません。

つまり、「掃除しろ！」ではなく、「何のために設置されているのか」「汚れるとどんなトラブルが発生するのか」という関心を高めることが重要なのです。このような見方が人間力を高め、

本質的問題の解決にもつながるのです。

「問題は小さいうちに叩く」という当たり前のことが経営を正常化に導きます。設備機器も同じです。故障を防ぐためには、故障を起



す要因(劣化)を小さなうちに発見して、復元処置することです。こうすることで故障が防げ、設備の安定稼働が実現できます。

もう一度イナテックの現場を見渡し、前述のような現場になっていないかどうか、原点に戻ってTPMを深化させ実行しよう。

四七

一字不識、而有詩意者、得詩家真趣。一偈不參、而有禪味者、悟禪教玄機。

たとい文字は一字も知らなくとも、詩情を解する者は、詩の真のおもしろさを理解する。また、たとい偈頌は一つも受けていなくとも、禪の妙味を理解する者は、禪の教えの極意を悟る。(文字を巧みに並べることが真の詩ではなく、偈頌をもてあそぶことが真の禪ではないことをいう)。